



平成24年6月

Vol. 17

発行／名田島自治会連合会  
 編集／自治会総務部会  
 印刷／株式会社山口県農協印刷



議長



## 名田島自治会連合会総会

### 第二次名田島地区

### 協働・福祉のまちづくり計画

名田島自治会連合会

会長 藤山 光美



深緑の候、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素から名田島自治会連合会にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

名田島自治会連合会では、平成二十一年度に策定した地域づくり五か年計画に基づき、協働による名田島地域づくりに取り組んでいます。

名田島は田園地帯であり、その特徴として、土木工事や環境整備・美化などの生活環境事業に特に力を入れています。名田島の最大の課題は、少子高齢化対策であり、地域振興・個性創出による若者の呼び寄せや定住化とともに、世代間交流や健康増進などの健康福祉事業にも力を注いでいます。三方を海や川で囲まれており、災害、特に水害に弱い地域ですので、昔からの伝統として、防災資機材整備・防災訓練などの防災事業を重視しています。小学校政策・通学路の安全対策・青少年健全育成などの生涯学習事業にも継続的に取り組んでいます。名田島の将来ビジョンを常に考えており、ホームページや会議報告書などで皆様とのこれらの情報の共有を心がけています。

名田島地域づくり五か年計画は、地区社協が一年先立って策定された地域福祉活動計画を下敷きにして、それに他の分野の課題も盛り込んで作成したものです。

地域福祉活動計画は平成二十四年度が最終年であるため、地区社協と自治会連合会が共同で『第二次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画』を策定する運びとなりました。自治会連合会の地域づくり計画については、一年早めて平成二十五年度から新計画のスタートになります。

名田島地域づくり計画を反省・見直し、続けるものは続け、止めるものは止め、付け加えるものは加えて、新たな出発にしたいと思っております。

この一年間は第二次まちづくり計画の策定に全力を注ぎます。ご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

# 名田島地域交流センター

あいさつ

所長 棟久和成

地域交流センターを中心とする協働のまちづくりが始まって、三年が経過しました。今年度は、地域自治の強化を図るにあたって、地域づくりの主体となる自治会連合会（地域づくり協議会）と連携し、地域振興や地域福祉等をはじめとする諸活動に取り組み、これまで以上に協働のまちづくりを定着させていきたいと考えています。

特に、自治会連合会及び名田島地区社会福祉協議会が共同で策定予定の「第二次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画」は、これからの名田島地域の将来を描く重要な計画ですので、当センターとしても積極的に協力してまいります。

また、東日本大震災を踏まえて、安心・安全なまちづくりを推進する視点から、地域の防災拠点である当センターの機能強化を図るとともに、地域の皆様と一体となって、防災訓練の実施、自主防災組織や要援護者の支援体制の整備など、地域防災力の向上に努めてまいります。さらに、活力ある地



後列左から 高木・棟久所長・西村・山平  
前列左から 横沼・江崎

域づくりを推進するために、地域に眠っている資源を掘り起こし、地域の活性化に繋がる個性ある活動にも取り組みたいと思っています。

これらにより「個性豊かで活力のある、自立した地域社会」を目指す。やまぐち式協働のまちづくりを着実に推進するとともに、「任んでよかったと実感できる名田島地域」の実現に向けて日々努力してまいりますので、よろしく願ひいたします。

# 今年度の5部会の活動計画

## 総務部会



部長 河村 宗一郎

総務部会は、1名増員され9名体制での活動となりました。

活動の柱は、地区社協と共同による名田島将来ビジョンの策定・地域づくり計画の改正となります。計画策定委員会を立ち上げて取り組んでいきたいと考えております。特に住民座談会等を開催しながら地域のニーズを多く盛り込んだものとしていきたいと考えております。

名田島自治会連合会の機関誌「田園」の発行については、今まで年2回の発行でしたが、今年は年3回の発行として、逐次内容も拡充していきたいと思っております。その一例として、「史跡・名勝名田島巡り」の欄を設け、各地区・集落の隠れた名所や旧跡を探ってみました。各地域の皆様の協力をよろしく願ひします。

さらに、昨年立ち上げたホームページ

の充実に努めて参りたいと思ひます。

特に立ち上げ当初の計画の一つである自治会連合会へご支援を頂いております団体の紹介をしていきたいと思ひます。また出来れば名田島農産品の紹介等実現したいと思ひます。

また、自治会役員の資質の向上のため、研修会も開催したいと思ひます。



ホームページのURL

### 生活環境部会



部長  
秋本 安男

道路、河川、里山の整備及び安全対策（要望事項）・交通安全・防犯対策・美化運動の推進を図ることを目的としています。

#### 平成24年度活動計画

##### 一、要望事項の推進（道路、河川、里山の整備、安全対策の推進）

集落からの要望事項を関係機関別に仕分けし、部会員が現地を確認を行い、県・市については順次要望を行っていきます。特に県・市への要求箇所は昨年よりの積み残し箇所が多くあり、被災・浸水・出水状況等説得力のある写真が必要なので大雨・台風時期に点検を行い、写真の整備についてご協力をお願いいたします。

土木工事の事業費は昨年と同額の170万円ですが、昨年よりの積み残し箇所を優先させて事業を実施する予定です。

##### 二、交通安全、防犯対策の推進

防犯灯の新設は要望箇所があれば検討を行い、LED電球の交換は、今年度中に順次行います。  
交差点のカーブミラーの設置は要望

箇所を検討し実施します。

##### 三、美化運動（クリーン作戦）の推進

各集落市道管理区間の草刈り、清掃の実費請求として最高4万円を補助します。

ボランティアクラブ（代表大林基宏氏他22名）と合同で榎野川河川公園、湯上中学校通学路の清掃活動を実施します。

##### 四、植樹運動の推進

未来に美しい景観を残す地域づくりで、桜等の植樹を行うこととしていきます。計画があればお知らせ下さい。今後とも生活環境部会の活動に地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



榎野川河川公園 ボランティアクラブ草刈り



要望箇所の現地確認

### 健康福祉部会



部長  
有吉 一宇

健康福祉部会の主な事業計画は次のとおりです。

##### 【環境パトロール】

「不法投棄禁止看板」周りの草刈り清掃、パトロールを行います。また、写真のような不法投棄防止看板等の設置があれば協力を行います。

##### 【名田島地区災害時地域支えあいマップ】作成への参加

名田島地区民生委員児童委員協議会、名田島地区社会福祉協議会及びその他団体参画により、日常及び災害時に支援の必要な人、支援する人、ふれあいの場、避難経路などを表示したマップを作成します。

##### 【第二次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画】策定への参加

地区社協、民児協及びその他団体参画により「第一次名田島地域づくり計画」の達成度、課題を評価し、「住民座談会」を通して「第二次計画」を策定します。

##### 【少子高齢化対策取り組み地区の情報収集】

総会資料の「人口動態集計」を見ますと、20〜44歳の子育て世代が大きく減少し連動して子供人口も減少しています。他地域の少子高齢化対策情報を収集します。

##### 【空き家、空地の調査】

現在、空き家16軒、空き地3件があります。引き続きその後の変動を調査します。利用希望者に

は情報を提供します。

【健康福祉に関する講座】県、市またはその他から講師を招いて健康・福祉に関する講座を開催します。

##### 【ごみ出しサポーターの制度の検討】

白石地区などでは、ごみ出しが困難な高齢者または支援の必要な方に対するごみ出し支援を制度化しています。名田島地区での実態を調査します。

##### 【世代間交流事業】

「どんど焼き」「あるけあるけ大会」への協賛支援を行います。



額には「護美神社」ならぬ「貧乏神神社」とあります。西開作下自治会で「建立」された不法投棄をいさめるミニ鳥居です。

### 生涯学習部会



部会長  
山根 義彦

今年の部会は「みんなで作り上げる、みんなで分かち合う」をテーマに16名の部員が一丸となって諸活動に取り組みます。

自主事業の開発については、名田島の風景写真を広く地区内外から募集し、それを「子や孫に残したい名田島風景100選」として発信していくことを考えています。

次に継続事業についてです。

① 史跡看板の作成については、今年度は島六神社、小学校頌徳碑、新開作三神社を予定しています。

② 小学校校庭の芝生化については、すべての管理責任は永続的に地元自治会となるため、浅慮を戒め広く皆さんの叡智を伺いつつ、積極的に推進してまいります。



ふるさとめぐり看板



見守り隊

③ 児童クラブ開設については、その中心となる実施主体者を募っていますが、これと並行して教室探し、入所希望者の把握、指導員の確保について、努力しています。

④ 子ども見守り隊の支援については、登下校時の安全確保という面から特に力を注いでいきます。

なお、以上のような事業の展開に当たっては、部会費の適切な執行に留意するとともに、事業実績の公表と相互評価に努めて行きたいと考えています。

### 防災部会



部会長  
佐分利 隆

(自主防災は継続こそが力)

皆様はじめまして。今年度から防災部会長を務めることになりました、向山下防災委員の佐分利と申します。

昨年3月11日の東日本大震災の後も、局地的な大雨災害や先日の関東地方での竜巻災害など、予想外の災害が全国各地で発生しています。

幸いな名田島地区では、近年大きな災害は発生していませんが、自主防災では、「安きに居りて危うきを思う、思えば則ち備え有り、備え有れば患(うれい)無し」を日常化して実践していくことが、大切だと言われています。

防災部会では、今年度も防災委員を中心として、8月26日の日曜日に、地域交流センターを拠点として、新開作の3集落を対象とした避難訓練と、全集落を対象とした情報伝達訓練を実施する予定です。当日は、炊き出し委員の皆様にご協力をお願いし、非常食の準備も、非常時簡易炊飯法を体験して頂くことを考えています。

また今年度は、名田島地区社会福祉協議会、名田島地区民生委員児童委員協議会、自治会連合会健康福祉部会と協力して、夏までには「名田島地区災害時地域支え合いマップ」を作成して、名田島

地区13集落ごとに災害時要援護者の把握をし、災害時支援体制の構築を図っていくことを計画しています。つきましては、これらの活動に対する地区の皆様のご協力をお願いいたします。



炊き出し班による避難食づくり



要援護者の避難訓練

## 平成24年度 名田島自治会連合会予算書

### 〔収入の部〕

(単位：円)

	23年度予算	24年度予算	比較増減	摘 要
自治会費	559,200	566,400	7,200	472世帯×1,200 566,400
補助金	8,182,643	7,927,000	△ 255,643	地域づくり交付金 7,414,000 市道美化清掃補助 500,000 緑化奨励金 13,000
寄付金		65,000	65,000	法人寄付 65,000
雑収入	71,000	1,000	△ 70,000	貯金利息 1,000
前年度繰越金	926,006	1,806,902	880,896	
合 計	9,738,849	10,366,302	627,453	

### 〔支出の部〕

(単位：円)

	23年度予算	24年度予算	比較増減	摘 要
会議費	400,000	200,000	△ 200,000	コピー代 100,000 お茶代 100,000
負担金	50,000	50,000	0	
事務費	2,340,000	3,131,000	791,000	人件費 2,660,000 その他事務費 471,000 コピー代 100,000 通信費 15,000 電話 80,000 消耗品 276,000
備品費	300,000	260,000	△ 40,000	
交際費	50,000	50,000	0	
交通費	100,000	100,000	0	
研修費	100,000	100,000	0	
総務部会	1,450,000	980,000	△ 470,000	田園印刷代 200,000 連合会資料回覧配布 100,000 田園マラソン補助 100,000 地区民体育大会補助 150,000 ふるさとまつり補助 150,000 フリーマーケット補助 100,000 総会資料印刷 150,000 ホームページ運営費 30,000
生涯学習部会	300,000	500,000	200,000	見守り隊 140,000 ふるさと探訪 300,000 小学校改築工事対応 50,000 会議費 10,000
健康福祉部会	300,000	306,000	6,000	地域支え合いマップ 10,000 世代間交流 70,000 少子高齢化対策 1,000 健康福祉講座 20,000 住民座談会 50,000 各団体活動協賛 122,000 環境パトロール 33,000
生活環境部会	3,300,000	4,100,000	800,000	土木 法定外公共物 500,000 土木 単市土地改良 1,200,000 市道美化 520,000 生活環境事業 300,000 防犯灯 300,000 カーブミラー 150,000 フラップゲート 960,000 その他 170,000
防災部会	450,000	200,000	△ 250,000	防災訓練 110,000 防災見回り 20,000 防災マップ 20,000 防災パネル 50,000
予備費	598,849	389,302	△ 209,547	
合 計	9,738,849	10,366,302	627,453	

## 平成24年度 名田島自治会連合会事業計画

### 活動方針

- 1 本連合会の主な役割を、情報の共有及び協働による地域づくりの場とする。
- 2 各種団体の主体性・自主性を尊重し、連携・調整を密にする。
- 3 計画の策定及び実行は、衆議をもって決する。
- 4 本年を連合会の反省・見直しの年とする。
- 5 各部会は、地域づくりに創意工夫を加える。

### 事業計画

#### 連合会全般

- ・名田島各種会議〔総会・役員会・(運営)委員会〕の開催
- ・山口市自治会連合会行事(総会・勉強会・研修会)、山口市行事(市政懇談会・移動市長室・意見交換会・予算検討会)、山口市南部地区行事(連絡協議会・情報交換会・各種イベント)への参加
- ・IT化対策(ホームページの充実)

#### 総務部会

- ・連合会の拡充〔名田島将来ビジョンの策定、地域づくり計画の改定(地区社協と共同)〕
- ・イベントの企画・運営協力・助成
- ・広報の発行、情報ネットワークの構築

#### 生涯学習部会

- ・ふる里探訪(「名田島ふるさとめぐり」マップ標識看板の作製)
- ・小学校改築工事に伴う対応(市教委との情報交換、運動場の芝生化、学童保育の検討)
- ・通学路の安全対策、見守り隊活動の推進

#### 健康福祉部会

- ・少子高齢化対策〔世代間交流事業、若者の定住促進(空き家・空き地調査、学童保育)、地域支え合いマップ作成、ゴミ出しサポート制度の検討、住民座談会(地区社協)への参加、(他地区)少子高齢化対策取組み状況の調査〕
- ・健康・福祉に関する講座開催(外部講師依頼)
- ・環境パトロール(不法投棄防止対策)

#### 生活環境部会

- ・道路、河川、里山の整備及び安全対策(要望事項)の推進
- ・美化運動(クリーン作戦)、植樹運動の推進
- ・交通安全・防犯対策の推進

#### 防災部会

- ・防災・防火訓練の実施、防災資機材の備蓄・管理
- ・災害時要援護者対策(防災マップ・地域支え合いマップ作成)
- ・災害時(洪水、台風)見回り

# シリーズ①

## 史跡名勝めぐり 名勝名田島めぐり

今回の田園から、シリーズものとして各地の史跡名勝を連載することになりました。



ちゆうず 手水川 (面影川)

島の中央に今も絶えることなく水が湧いている所があります。池のように見えますが（手水川）と言います。

ここはその昔、この入り江に多くの船が停泊し、水を汲んだと言われています。

又、別には神功皇后が三韓征伐に行かれる時、この霊泉に面影を写し、島明神に戦勝を祈願されたと言われから、別名（面影川）とも言います。写真左の由来碑は昭和十五年に建てられました。



これらの絵馬は六神社のものです



森重雪島先生之碑



この碑は、県道秋穂二島線そばの島中山墓地にあります。

森重雪島は、名田島の生まれで、維新の戦役に従軍し、大いに功がありました。明治三年に起きた脱隊騒動に加わり、処刑される直前釈放されました。

それ以後、郷土に帰り、画筆に親しみ、多くの子弟を教えました。

### 編集後記

この号から、「史跡・名勝名田島めぐり」を掲載することになりました。

つきましては、このような情報や掲載を希望する対象がありましたら、事務局までお知らせください。



事務局

TEL 083-973-7551  
FAX 083-973-7551